

## 既存試料・情報を用いる研究についての情報公開

本学では、医学系研究に協力して下さる方々（以下研究対象者）の利益と安全を守り、安心して研究に参加していただくように心がけております。こちらに記載されている研究については、研究・診療等により収集・保存された既存試料・情報を用いる研究で、直接研究対象者からインフォームド・コンセントを取得することが困難であるため、情報公開をさせていただいております。

こちらの文書は研究対象者の皆様に、情報公開をするとともに、可能な限り研究参加を拒否または同意撤回の機会を保障する為のものになります。

なお、研究参加を拒否または同意撤回されても一切の不利益はないことを明記させていただきます。

受付番号	(倫理) 第 2290 号
研究課題	コロナ禍における ICU ダイアリーを活用した看護ケアに関する研究
本研究の実施体制	研究責任者：西病棟 6 階 看護師 橋本侑里香 研究分担者：西病棟 6 階 副看護師長 田中貴子 データ分析・論文執筆指導 西病棟 6 階 看護師 中村小百合 データ分析 西病棟 6 階 看護師長 吉里孝子 データ分析・論文執筆指導
本研究の目的及び意義	医療の現場では新型コロナウイルスの影響で家族の面会を制限している現状があります。患者や家族の不安を少しでも軽減するためには心理状況を理解したタイムリーな看護介入が求められています。ICU ダイアリーは、患者の記憶の再構築や集中治療症候群の予防として活用されていますが、いくつかの先行研究では、ICU ダイアリーの活用は患者だけでなく、家族への心理的ケアになると述べられています。現在、ICU ダイアリーを用いた家族ケアへの介入に関する先行研究は少なく、国内での ICU ダイアリーの普及もいまだ多くない状況にあります。本研究では、ICU に一週間以上入室となった患者様とご家族の方に ICU ダイアリー（患者様の日々の様子や写真、看護師のケア状況説明を記したものを）を活用した家族ケアの実践について、事例研究として考察することで、コロナ禍において面会を制限された患者様とご家族の方への家族ケアの一助になることを期待します。
研究の方法	コロナ禍で ICU に入室し、ICU ダイアリー活用して家族ケアを実践した患者様とご家族の方の言動に関する情報を電子カルテと、研究対象者から送付された手紙から収集し、事例を分析します。
研究期間	2021 年 5 月 26 日 ～ 2023 年 12 月 31 日
試料・情報の取得期間	2021 年 5 月 26 日 ～ 2023 年 12 月 31 日
研究に利用する試料・情報	電子カルテ内の情報・研究対象者から送付された手紙の内容からデータを収集します。

#### 個人情報の取扱い

個人を識別しうる情報は記載しません。電子カルテ、患者・家族の言動に関する情報を研究責任者が責任を持ち、鍵のかかる場所で保管します。データを保存する USB は鍵付きとし、外部とアクセスできないコンピューター使用します。期間後は、USB は適切な方法で処分し、すべてのデータを削除します。

#### 研究成果に関する情報の開示・報告・閲覧の方法

本研究は侵襲及び介入を伴わない事例分析による後ろ向き研究であり、研究対象者の健康等に関する重要な知見(偶発的所見を含む)が得られる可能性はありません。研究結果は、個人が特定されないようにした上で、学会発表や学術雑誌への論文投稿として公表します。

#### 利益相反について

本研究における利益相反申請事項はありません。また、本研究の利害関係については、利益相反審査委員の承認を得ています。

#### 本研究参加へのお断りの申し出について

患者の家族に、本研究の説明文書を郵送し、返信を持って同意が得られたとします。説明文書の内容は、研究の目的・意義について、本研究への参加は自由意思であること、協力しない場合も不利益を受けることがないこと、参加に同意した後でも撤回可能であること、得られたデータは守秘義務に則り、個人が特定できないようにすること、研究データは本研究以外の目的には使用しないこと、本研究の結果は関連学会で報告することがあること、研究発表後にデータは削除することとします。

#### 本研究に関する問い合わせ

所 属：看護部西病棟 6 階

応答責任者名：橋本侑里香

電 話：096-373-7031

E - m a i l : yurika-hashi@kuh.kumamoto-u.ac.jp